


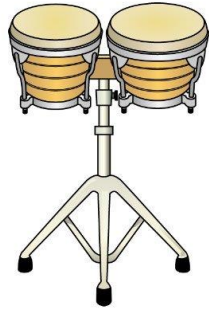
題材名・単元名	学部	授業名(主たる教科領域)	授業者
ジャングルぐるぐる 打楽器をならそう	小	全体おんがく 高学年 (音楽)	高木 徹

<ねらい>
 ・教師の歌いかけを快く感じながら身体表現をする。
 ・いろいろな楽器に親しみ、リズムを感じとって演奏したり、自由に演奏したりする。
 ・音楽を楽しく聴いたり、音楽の雰囲気を感じとったりし、感じたことを自分なりに表現する。

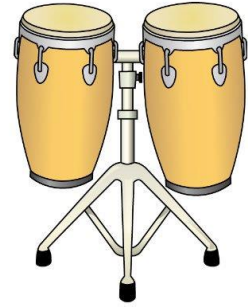
学習内容	学習活動	指導上の留意点・準備物
1 はじまりの歌 「♪たのしい おんがく」	・歌詞に合わせた動作をしながら、授業のはじまりに気持ちを向ける。	CD 歌詞カード
2 歌・身体表現 (1)「♪ジャングル ぐるぐる」	・教師(ターちゃん)や友達と一緒に、楽しんで動物の動きをする。 ①ジャンプ(川) ②手を合わせてくねくね(ヘビ) ③手を頭上で合わせ回転(サイ) ④教師の股の間をくぐる(トンネル)	教師衣装 ヘビ模型 サイパネル
3 楽器 【和太鼓】 【ボンゴ・コンガ】	・リズムの違いを感じ取って打楽器を演奏する。 レベル1: ゆっくり(長め) → 連打 → ポーズ(ドン・ドン・ヤー!) レベル2: ゆっくり(8回) → ふつう(16回) → 連打 → ポーズ レベル3: ゆっくり(4回) → ふつう(8回) → 連打 → ※繰返し → ポーズ ※  レベル4: 教師の見本の後、同じように打楽器を鳴らす → 連打 → ポーズ	和太鼓 バチ ボンゴ コンガ
4 おわりの歌 「♪おしまいの うた」	☆授業の終わりを意識する	消毒液

<内容(工夫点など)>
 ・感染症対策のため、児童・教師ともに歌唱はせず、予め録音したCDを流した。
 ・身体表現の見本は、教師だけでなく、前に出て取り組みたい児童も参加して行った。
 ・児童の発達段階が幅広いため、打楽器の演奏はレベル別に分け、個々にねらいをもって取り組めるようにした。

<良かった点・改善点(児童生徒の反応を含め)>
 ・打楽器は、児童の発達に応じてレベルを選べたのでよかった。児童自ら「レベル4がしたい」と言って取り組む児童もいた。



ボンゴ



コンガ